

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
香美市	香美市	H29. 4. 1～R4. 3. 31	H29. 4. 1～R4. 3. 31

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目 標※3	
総人口	26,743	25,391	25,494	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	12,647	12,830	13,027	101.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	47.3%	50.5%	51.1%	118.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	200	170	166	97.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.7%	0.7%	0.7%	-%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,294	4,850	4,574	94.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	16.1%	19.1%	17.9%	60.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	9,602	7,541	7,727	102.5%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置設備事業	香美市	生活排水による河川等の公共用水域の水質汚濁を防止し、快適な住環境整備の資するため対象区域の住宅に浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	平成 29 年度～ 令和 3 年度 (平成 29 年度～ 令和 3 年度)	浄化槽設置基数 165 基 平成 29 年度 34 基 平成 30 年度 33 基 平成 31 年度 38 基 令和 2 年度 29 基 令和 3 年度 31 基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

令和3年度末の当市の汚水処理人口について、目標 17,850 人、70.3%に対して、実績 17,767 人、69.7%となり目標を下回る結果となった。

浄化槽の整備基数については、目標 185 基に対して実績は 165 基となり、処理人口及び普及率については、目標 4,850 人、19.1%に対して実績は 4,574 人、17.9%で目標を下回った。

浄化槽補助対象区域内の新築・改築家屋のほとんどが浄化槽を設置していることから、今後も補助金事業の継続は不可欠であり、未処理人口の削減に向け、単独浄化槽からの転換を含めてより一層の取り組みを行っていく。

(都道府県知事の所見)

公共下水道、集落排水施設及び合併処理浄化槽と地域の実情を踏まえた生活排水処理施設の整備が行われている。

公共下水道による汚水処理人口普及率は目標に達しており、集落排水施設はほぼ目標とおりの数値を維持、合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率は目標をやや下回ったため、全体目標である 70.3%に対し、実績が 69.7%と目標をやや下回る結果となった。ただ、未処理人口は着実に減少しており、計画の効果を見て取ることができる。

今後も、単独処理浄化槽からの転換も含めて、更なる浄化槽の設置整備の推進により汚水処理人口の増加を図りたい。